

「寒地ITSワークショップ」（兼 第18回寒地道路連続セミナー）  
平成18年 9月 8日  
寒地土木研究所1F講堂



小樽開発建設部・小樽土木現業所・小樽市  
発表者：小樽市建設部まちづくり推進室都市計画課主査 阿部宏之

## ご説明の流れ

### 1. 小樽市の歴史的景観について

### 2. 小樽市の観光動向と観光案内の現状について

### 3. 小樽案内標識整備協議会について

- (1) モデル地区への選定経緯と協議会の設立について
- (2) 小樽案内標識整備協議会におけるこれまでの議論について

### 4. 今後の事業展開について

- (1) 中央通りにおける試行実施について
- (2) QRコードの活用について
- (3) 実施計画の策定に向けて

## 1. 小樽市の歴史的景観について

### 【にしん漁の風景】



「ふるさとの想い出写真集 小樽」より

◆江戸時代末期(1850年頃)から昭和初期(1930年頃)  
にしん漁で栄える

「ふるさとの想い出写真集 小樽」より  
当時の手宮駅構内



石炭積出し埠頭

「ふるさとの想い出写真集 小樽」より

◆明治13年(1880年) 岩内(三笠市)に発見された石炭搬出のため、小樽～札幌間35.9kmの鉄道が日本で3番目に開通

「ふるさとの想い出写真集 小樽」より



ケーロンの進水

上空から見た  
現在の防波堤



北海道HPより

◆明治41年(1908年) 石炭、穀物、雑貨、海産物などの港湾貨物の増加に対応するための北防波堤の完成

「ふるさとの想い出写真集 小樽」より



「小樽運河」整備前

「小樽運河」整備後



◆大正12年(1923年) 小樽運河の完成

### 【日本銀行小樽支店】

「北海道の建築」より



◆大正末期～昭和初期(1920～1940年頃)  
銀行、商社等の進出(小樽経済の最盛期)

「北海道の古建築と街並み」より



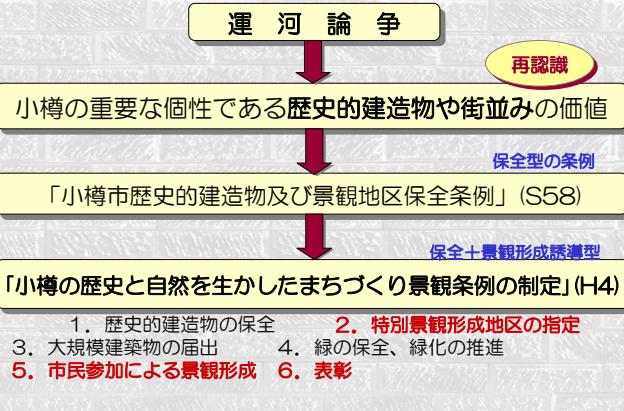
整備前

整備後



◆昭和61年(1986年) 「小樽臨港線」完成

## 運河論争から歴史的景観の保全へ

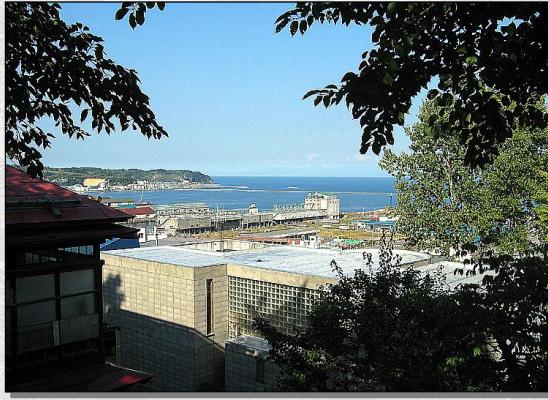


### 【旧小樽倉庫（小樽市指定歴史的建造物）】



- ◆昭和58年(1983年)に小樽市で買収し、改修
- ◆昭和60年(1985年)から「小樽市博物館」として活用
- ◆平成2年(1990年)から「運河プラザ」として活用

### 【重要眺望地点（水天宮）】 小樽を代表する眺望地点



◆現在、6カ所指定（平成8年）

### 【特別景観形成地区（メリヘン交差点）】

小樽らしい都市景観の形成上特に重要で、市民の共有財産としてシンボル的な地区



- ◆地区景観形成計画：地区的特徴を生かした全体的な方針を示す
- ◆地区景観形成基準：建築物等についての具体的な指針を示す

## 2. 小樽市の観光動向と観光案内の現状について

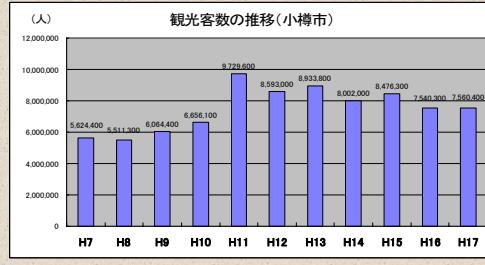
近年は年間 約800万人 の観光客が訪れている

観光は小樽市経済の基幹的産業の一つとして重要な位置づけ

観光による市外からの収入：年間1,319億円（市内産出額の15.4%）

経済波及による総売上高：年間2,668億円（市内産出額の31.2%）

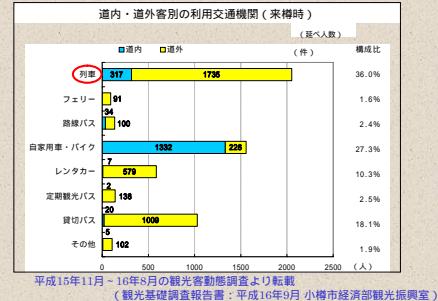
平成15年10月～16年9月の観光経済波及効果計測（観光基礎調査報告書：平成16年9月 小樽市経済部観光振興室）より



### 観光動向～来樽時の利用交通機関～

「列車」を利用して来樽する観光客が最も多く、

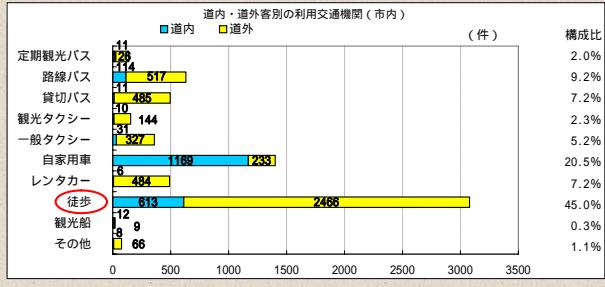
次いで「自家用車・バイク」「貸切バス」「レンタカー」の利用が多い  
道内内容は、「自家用車・バイク」の利用が78%を占める  
小樽観光散策の発集地点は「JR駅」「主要な駐車場」である



### 観光動向～市内観光の利用交通機関～

約半数の観光客が「徒歩」で小樽観光をしていることから、

歩行者用案内標識の整備など、歩行者に対するサービスの充実が重要

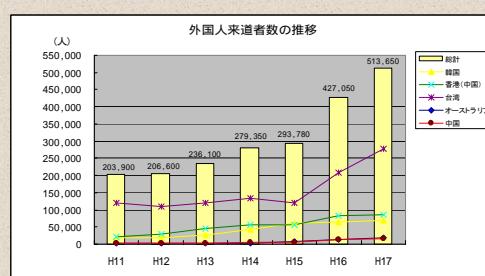


### 観光動向～北海道の外国人観光客～

平成17年度の外国人来道者は約51万人

外国人来道者は6年間で約2.5倍

特に「台湾」「香港」「韓国」からの来道者が急増



## 観光動向～北海道の外国人観光客～

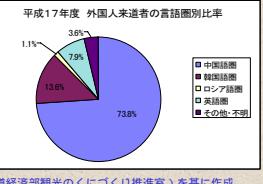
平成16年度の外国人来道者は「**台湾**」が54%を占めている

「香港」17%、「韓国」14%、「オーストラリア」3%

言語圏で比較すると「**中国語圏**」が74%を占めている

「韓国語圏」14%、「英語圏」8%、「ロシア語圏」1%

「中国語圏」～中国、香港（中国）、台湾  
「韓国語圏」～韓国  
「ロシア語圏」～ロシア  
「英語圏」～シンガポール、アメリカ、カナダ、オーストラリア  
「その他・不明」



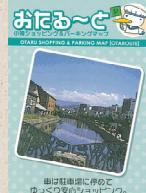
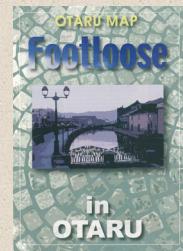
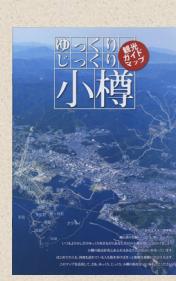
平成17年度 北海道観光入込客数調査（北海道経済部観光のくにづくり推進室）を基に作成

## 観光案内の現状～パンフレット～

ゆっくり じっくり 小樽

観光マップや施設の紹介

（日本語版）



おたるーと  
駐車場やショッピング  
情報の紹介

4カ国語版 OTARU MAP

観光マップや施設の紹介

（英語、中国語、韓国語、ロシア）

## 観光案内の現状～ホームページ～

小樽市のホームページで観光情報をPDF形式で提供

- ・おたる駐車場マップ
- ・小樽観光コース「来ぶらり百選」
- ・歴史的建造物ガイドマップ
- ・小樽観光マップ「OTARU MAP」  
(4カ国語：英語、中国語、韓国語、ロシア語)



## 歩行者案内標識の現状～大きさ・デザインなど～



大きさとデザインがバラバラな既設の総合案内標識



デザインに統一性がない既設の誘導標識

## 3. 小樽案内標識整備協議会について

## (1) モデル地区への選定経緯と協議会の設立について

## 《事業のポイント》

## 「道路管理者が連携した案内標識の整備事業」

- ① 国・北海道・市町村による連携
- ② 外国人を含めた多様な観光客への対応  
多言語表記、ユニバーサルデザインなど
- ③ 歩行者用案内標識の面的な整備



訪問先の地理に不案内な観光客が  
安心して散策のできる環境を整備する。

## 協議会の設置～メンバー構成～

## 平成17年12月「小樽案内標識整備協議会」の設置

## 《構成メンバー》

- ・学識経験者………1名（小樽商科大学大学院教授）
- ・市民の代表………2名（小樽観光協会、観光カリスマ）
- ・関係行政機関………6名
  - ①座長（小樽市建設部まちづくり推進室長）
  - ②観光部局（後志支庁経済部、小樽市経済部）
  - ③道路管理者（小樽開発建設部、小樽土木現業所、小樽市）

イベントとITを活用した  
地域リーダーカリスマ

## 3. 小樽案内標識整備協議会について

## (2) 小樽案内標識整備協議会におけるこれまでの議論について

## 《歩行者用案内標識整備の基本的な考え方》

～5つの基本方針～

- 1 各種観光情報において、掲載施設、名称表記などの整合を図る
- 2 観光客を積極的に誘導する主要なルートを設定する
- 3 総合案内・地区案内・誘導の3種類の標識を整備する
- 4 標識としての識別性を高めるため、デザインを統一する
- 5 すべての人に分かりやすい案内標識を目指す  
(エバーアクセシブル、外国語表記、ピクトグラムやインターネットの活用)

表示内容について～表示の方針～：基本方針3・5				
<b>《総合案内標識》</b> 中心市街地全体の地図により、観光情報を提供する <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の地図を掲載する</li> <li>・地図はマスターマップを基本とする</li> <li>・設置場所の通り名称や地区名称を記載し、歴史的建造物などの詳細情報も加える</li> </ul>				
<b>《地区案内標識》</b> 現在地周辺の地図、地区の理解を深める歴史などを紹介する <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺地区の地図を掲載する</li> <li>・地図はマスターマップを基本とする</li> <li>・地区や施設の魅力を説明する構成にする</li> </ul>				
<b>《誘導標識》</b> 歩行者を目的の施設へ誘導する <ul style="list-style-type: none"> <li>・誘導対象は、公共施設やランドマーク的なものなどから選択する</li> <li>・通り名称及び市場の名称を積極的に掲載することで個性化を図る</li> </ul>				
	設置数	多言語表記 南北小路駅 Nankinmachi Station Nankinmachi Station, Nankinmachi, Gion, Kyoto, Japan	ピクトグラム表示 	QRコード表示 
<b>総合案内標識</b>	新設4基 (既設9基)	日本語・英語		
<b>地区案内標識</b>	新設11基 (既設3基)	日本語・英語		
<b>誘導標識</b>	主要交差点に 配置を検討中	日本語・英語 中国語(繁体字・簡体字) 韓国語・ロシア語		

デザインについて～デザインの方針～：基本方針4

### デザインの特徴

- 市街地の色彩の基調色となっている青緑色を基本色。
- シンプルな形状、必要最低限の大きさ（目立ち過ぎない）。
- 真鍮で縁取り（周囲の建築物と調和する個性と質感）
- 下部は石材（積雪などによる破損に配慮）

### 《協議会での意見》

- 施設や通りでバラバラになるのが問題であり、堺町本通りのイメージで統一するのはすばらしい
- ニセコ町の鱒羅街道のように道路標識までトータルデザインできると良い
- 何年経ってもおかしくないデザインが一番であり、石造倉庫など地域の背景色も考慮した堺町本通りのデザインで良い

堺町本通りで設置している標識のデザインを踏襲する

総合案内標識  
地区案内標識  
誘導標識

地区案内標識  
既設の新規地区案内標識、  
誘導標識のデザインを踏襲

4. 今後の事業展開について  
(1) 中央通りにおける試行実施について  
《中央通りの現況》

中央橋より駅方面を望む

駅前の歩道橋より運河方面を望む

**試行設置対象施設**

The diagram illustrates three types of trial placement signs against a grid background:

- 綜合案内標識 (Comprehensive Internal Guide Sign):** A large sign containing a map of the entire city area, labeled "国道5号" (National Route 5) and "市街地" (Downtown). It includes a legend for "行政区別地図" (District Map), "駅周辺地図" (Station Area Map), "主要施設地図" (Main Facility Map), "主要交差点地図" (Major Intersection Map), and "主要バス停地図" (Major Bus Stop Map).
- 地区案内標識 (District Internal Guide Sign):** A medium-sized sign containing a map of a specific district, labeled "中央通り" (Central Street) and "市街地". It includes a legend for "駅周辺地図" (Station Area Map), "主要施設地図" (Main Facility Map), and "主要交差点地図" (Major Intersection Map).
- 誘導標識 (Guidance Sign):** A tall, narrow sign containing a map of a street, labeled "中央通り" (Central Street) and "市街地". It includes a legend for "駅周辺地図" (Station Area Map) and "主要施設地図" (Main Facility Map).



【第15回小樽市都市景観賞受賞作品（日藤メモリアルガーデン）】

ご静聴、ありがとうございました。



◆「(株)日刊北海経済新聞社(旧安田銀行小樽支店)」と  
合わせて2作品が受賞